



YouTubeで議会動画を公開中!

激動の選挙戦から
一般質問まで

全活動を公開!
公式サイトから是非ご覧ください



この度の原仁史雲南市長逮捕の件につきまして

この度、原仁史雲南市長が入院中の病院にて傷害事件を起こすという、基礎自治体の長としてあってはならない事件を起こしました。私、梶谷よしひらとしても被害を受けられた方に深くお詫びすると共に、社会の信用を傷つけ、市民の皆様、病院の皆様をはじめ関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びを申し上げます。

”所感” 私にとっての初議会

よしひら通信創刊号という事で、今回は私にとっての初議会の所感についてお話ししたいと思います。私の初議会は、先輩議員の質疑応答にただただ圧倒され幕を開けました。

私の一般質問はたまたま2日目だったこともあり、質問の前日には徹夜で練習をしたのですが、後からもう少し細やかな質問をして行かなければならなかったと経験不足を痛感し、反省を繰り返しております。

執行部の皆さんは真摯に回答して下さいました。これから市民の皆様の声をもっと聞き、それを議会に届けなければならないと強く感じると同時に、議会に送り出して下さり、このような経験をさせて下さいました市民の皆様にご感謝をしています。これからの4年間、市民の皆様にご恩返しをしていかなければならないと強く感じた初議会でした。

教育民生常任委員会 / 議員番号6番

梶谷佳平



皆様のご意見は、WEB上のメールフォームよりお聞かせください

<https://kajitani.site>





雲南市議会議員 梶谷よしひら

よしひら通信

創刊号

令和2年12月

定例会一般質問

問1

令和2年度の雲南市内の除雪計画で市道と平坦地の計画はどの様になっているのか

答 西川建設部長

令和2年度の市道の除雪計画は令和2年12月1日から令和3年3月31日までで積雪観測地で15センチを超えるを開始します。重要性から定めた市道964路線、農道53路線、林道13路線の1030路線で、除雪延長766.4キロメートルです。歩道の除雪は4路線4.5キロメートルです。除雪車両は、市の所有するもの36台、小型1台、業者からの借上げ63台、県から借上げ111台の合計1111台、委託業者は38社です。市道全体で1100キロメートルで70%強を除雪します。平坦地などは除雪場所を自主組織に連絡して示している。周知については、市報、告知放送で行っている。問題があれば建設部に連絡してほしい。

問2

雲南市6町の除雪ボランティアや各町の団体数と人員および除雪内容等詳細について

答 西川建設部長

除雪ボランティアについては、23団体のべ97名の方が登録されています。除雪については市が除雪しない路線、通学路の歩道など市道33路線、歩道30路線の合計63路線です。積雪が15センチを超えると作業を開始いたします。有償ボランティア

なので距離に応じて交付金をお払いしています。各町の状況は、大東町9団体41名、加茂町5団体17名、木次町3団体18名、三刀屋町5団体20名、吉田町1団体1名です。除雪ボランティアの募集は年度当初に自主組織を通じて募集しています。十分に足りている状況ではないと承知している。

問3

雲南市所有施設の民間等への貸出状況や施設情報・今後の運用予定について

答 内田総務部長

行政としての施設の目的を有しない普通財産については、民間企業などに貸出しています。特別養護老人ホームえがおの里などの福祉事業所に7施設、4986.03平方メートル、大東町、吉田町の消防格納庫5施設を地元自治会などに、1118.7平方メートル、大東ふれあいセンターを森林組合などに3施設、1304.15平方メートル、大東町の元西町会館をシルバー人材センターに1棟、198.54平方メートル、吉田地区の地域自主組織に倉庫1棟34.4平方メートル、道の駅さくらの里の一部171.08平方メートル、木次町マルシェリズに998.2、79平方メートル、合計では、19施設で総床面積16795.69平方メートル、構造については福祉事業所、大東ふれあいセンター、さくらの里、マルシェリズが主に鉄筋または鉄骨で、消防格納庫が木造、築年数は消防格納庫など50年経過したものもあり、福祉事業所は平成元年から11年、さくらの里が平成13年、マルシェリズが平成4年、建設費用は築年数が不

問4

現在の雲南市所有施設で使用されていない休眠状態の施設の状況と今後の予定

答 内田総務部長

明なものが多く把握できていない。休眠施設で未使用であるものを抽出しました。木次、三刀屋、掛合の旧学校給食センター、鉄筋、鉄骨作りの3施設1291平方メートル、元掛合交流センター鉄骨2階建てと平屋の2棟779平方メートル、大東町の旧放課後児童クラブ、木造平屋建て78平方メートル、大東町の旧春殖中学校木造平屋519.3平方メートル、掛合町の教職員住宅、木造平屋2棟998平方メートル、合計7施設9棟で床面積2765.3平方メートルです。建築年については、旧春殖中学校の昭和23年から旧掛合学校給食センターの平成6年建築のものまであります。建設費用については把握出来ていません。休眠施設の年間費用は、7施設の土地借上料22万円、建物保険5万円の合計27万円です。休眠施設の貸出計画については、貸付だけではなく譲渡を含めた財産の活用を今後にかつていく予定にしています。今年7月に個別資産の活用を進める手順や具体的な検討を行う組織、決定した個別資産の活用方針を公表することなどを定めた私有財産活用基本方針を策定しました。具体的な検討を行う組織として普通財産検討部会を今年1月に立ち上げました。第一弾として土地のみを含む22件の個別資産の検討に着手したところです。財産処分の方針で処分条件、譲渡とか貸付、処分方法、スケジュールを立案していくことにしている。



WEBから
皆様のご意見、
お聞かせください

<https://kajitani.site>

梶谷よしひら後援会事務所 〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313
発行責任者 梶谷佳平 電話・FAX 0854-49-6399

